

日本マンガ学会第17回大会

主催：日本マンガ学会

日時：2017年6月24日（土）・25日（日）

会場：クロスパルにいがた（新潟市中央区礎町通3-2086）

大会参加費（本イベントはマンガ学会会員でなくとも参加できます／事前申込不要）

会員 1000円（1日につき）／一般 2000円（1日につき）／学生（※要学生証提示、大学学部生以下） 1日目：500円 2日目：1000円

懇親会参加費 一律3000円

6月24日（土）：会員による研究発表／総会／懇親会／合宿座談会

12：00～12：45 参加受付

12：45 開会宣言

13：00～16：25 研究発表

17：00～18：00 総会

18：30～20：00 懇親会

20：30～22：00 合宿座談会

6月25日（日）：シンポジウム「マンガとスポーツ」

9：30～10：30 参加受付

10：30～12：30 第1部「球技編」

石田敦子 [マンガ家]

大武ユキ [マンガ家]

夏目房之介 [学習院大学教授] / コメンテーター

宮本大人 [明治大学准教授] / 司会

14：00～16：00 第2部「格闘技編」

小林まこと [マンガ家]

呉智英 [マンガ評論家] / コメンテーター

吉村和真 [京都精華大学教授] / 司会

スポーツマンガそれは、戦後マンガにおいて連綿と受け継がれてきた一大ジャンルであり、今なお発展を遂げている人気ジャンルです。なかでも、野球やサッカーに代表される「球技」と、柔道やプロレスをはじめとする「格闘技」は、二大潮流として多くの作者が手がけ、読者を魅了してきました。実在の選手がマンガに影響を受けたという話もしばしば見聞します。スポーツマンガの歴史には、マンガ表現の発達史はもちろん、戦後日本の大衆文化史や精神史を重ねることも可能でしょう。

今回のシンポジウムでは、第一部「球技」に「球場ラヴァーズ」の石田敦子先生と「フットボールネーション」の大武ユキ先生が、第二部「格闘技」には地元・新潟のご出身でもある「女子柔道部物語」の小林まこと先生がご登壇。試合や練習を通じたキャラクターの成長、仲間やライバルとの切磋琢磨、スピードやパワーに溢れる身体表現など、それぞれの種目や時代に応じた作品の創意工夫について、熱く語っていただきます。